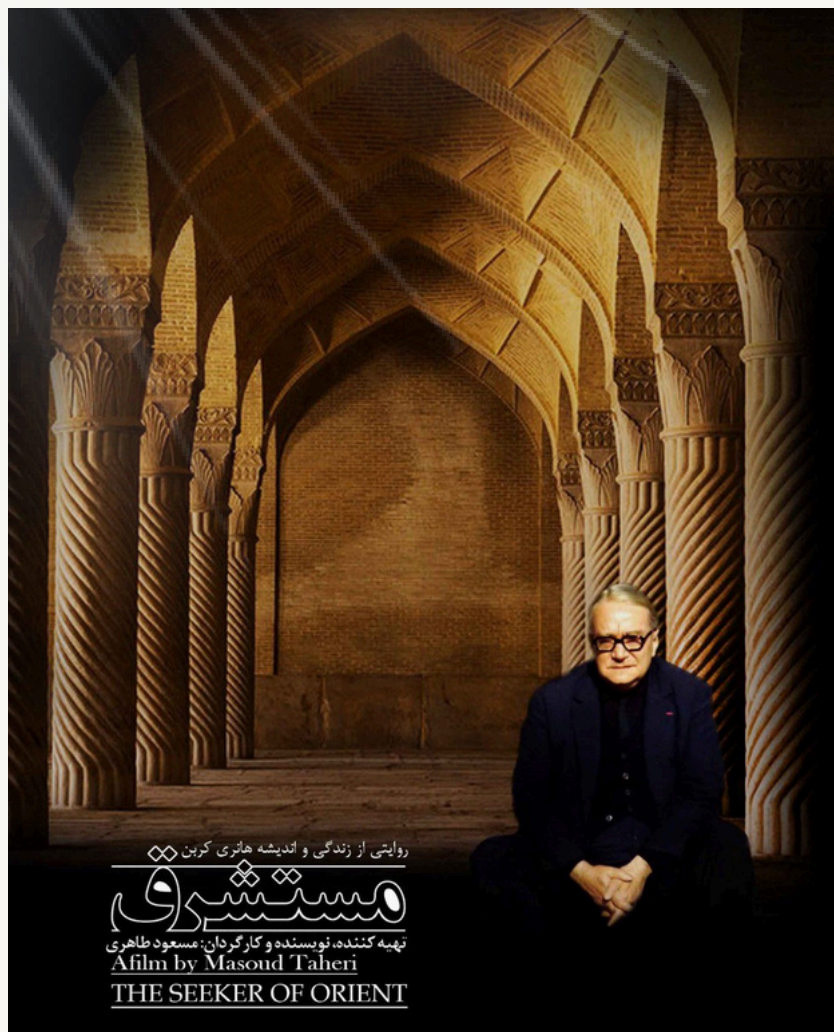


マスウード・ターヘリー監督による作品

ムスタシュレグ

東洋を求めた人 アンリ・コルバン



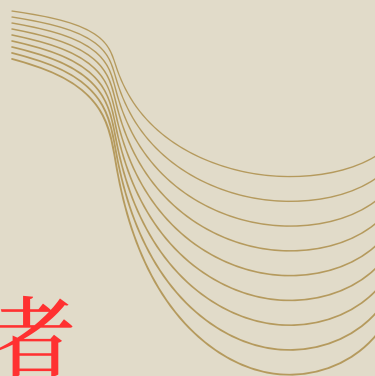
アンリ・コルバンをめぐるドキュメンタリー映画



制作 & 著作権 : Chehrdad Film
配給: 株式会社Kimiya

www.kimiyacast.com

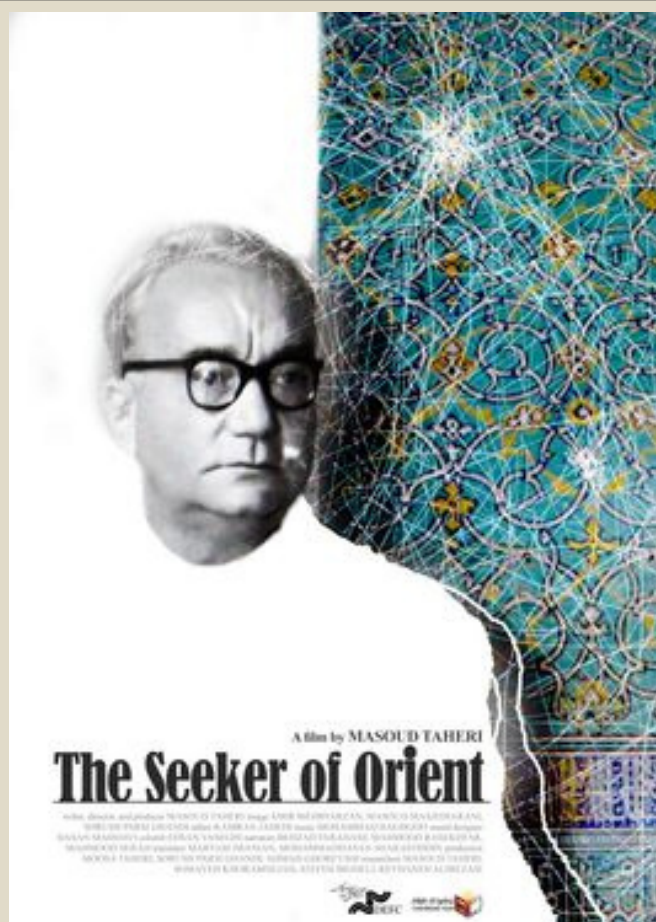




インタビュー対象者

Mohammad 'Ali Amir Moezzi, Christian Jambet, Pierre Lory, Yann Richard, Jean-Claude Carrière, Herman Landolt, Seyyed Hossein Nasr, Dariush Shayegan, Mostafa Malekian, Bahman Zakipour, etc.

ジャンル	ドキュメンタリー
テーマ	哲学、歴史、思想
言語	フランス語、ペルシア語、英語、など
字幕	英語
時間	110分
フォーマット	ダウンロード版



www.kimiyacast.com

¥ 3,600 (税込み)

キャンペーンによって変わることがあります。



沿革・上映史

本作『ムスタシュレグ』は、2018年2月7日、当時の駐イラン・フランス大使 フィリップ・ティエボーがテヘランのイワン・シャムスホールに出席した際に上映された。

翌日には、イラン国立図書館において、思想家や知識人を招いた上映後の討論会が開催された。

当初は、ソルボンヌ大学をはじめ、世界各地の研究機関や大学での上映が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、これらの計画は中止を余儀なくされた。

その間、本作はイラン国営放送チャンネル4にて3度放送され、広く視聴された。さらに、BBCペルシア語放送をはじめとする各種メディアやウェブサイトにおいて、本作の紹介や批評が掲載された。

パンデミック終息後は、各地の大学で上映が再開されている。

さらに、2024年6月29日には、日本の明治大学和泉キャンパスにおいて、エフサーン・シャリーアティーの登壇のもと上映が行われ、本作にとって初の国際上映となった。



アンリ・コルバン



1903年に生まれたコルバンは、フランスのイスラーム研究者であると同時に、東西思想を結びつけた稀有な哲学者でした。彼はマルティン・ハイデggerをフランス語に初めて紹介した現象学者でありながら、やがてシハーブッディーン・スフラワルディーの思想に深く傾倒します。

長年にわたりイランに滞在し、モハンマド・ホセイン・タバターバーイーをはじめとする思想家たちと対話を重ねる中で、彼は「東洋」を地理ではなく、魂が真理と出会う場として捉えるようになりました。その核心にあるのが、「イマージュ界（想像力の世界）」という独自の哲学概念です。

「ムスタシュレグ」という言葉は、今日では一般に「東洋学者（オリエンタリスト）」を指します。しかしその語源には、単なる学問的探究を超え、「精神的東洋を探求する者」という深遠な意味が込められています。本作は、この言葉の本質を体現した哲学者アンリ・コルバンの思想と生涯を描くドキュメンタリーです。



☎ +81-80-3553-1921

✉ info@kimiya.com

🌐 www.kimiyacast.com

